

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 691 号	氏名	Le Minh Nhat
学位審査委員	主 査 橋爪 真弘 副 査 中込 治 副 査 森田 公一		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、ベトナム人小児において、パンデミックインフルエンザ A (H1N1) 流行期と季節性インフルエンザ流行期で急性呼吸器感染症患者数および重症度に差があるかを明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>ベトナム・ニャチャン市在住の小児を対象に、呼吸器感染症サーベイランスデータを用いて、年齢別罹患率をパンデミックインフルエンザ流行期とその前後で算出した。また PCR 法を用いてウイルスを同定し、亜型別に臨床特性を比較しており、研究方法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、5 歳未満小児のインフルエンザ罹患率は、パンデミック前後で有意な差を認めなかった。パンデミックインフルエンザ症例は、季節性インフルエンザ症例と比べて重症度が高いとは言えず、ほかの呼吸器ウイルスとの重複感染率が低いことが示された。重複感染が季節性インフルエンザを重症化させることが知られているので、重複感染率の低さがパンデミックインフルエンザの重症度が高くなかったことに影響している可能性について言及しており、解析・考察についても妥当である。</p>			
<p>以上のように本論文はインフルエンザ研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			